



広田小学校だより

# はまなす

校訓「希望に起ち 充實に活き 感謝に眠る」

陸前高田市立広田小学校  
校報 第4号

2026年5月7日

文責 吉田和浩

## 「前期児童総会」～自分たちの学校を自分たちで～

5月1日（金）に、令和8年度前期児童総会を行いました。総会では、児童会執行部をはじめ、各委員会から今年度の活動計画が提案され、どのような取組を行っていくのかについて話し合いました。広田小学校をよりよい学校にするため、また全校児童のために自分たちに何ができるのかを、具体的に考えながら意見を出し合う姿が見られました。今回が初めての参加となった3年生も、積極的に質問したり意見を述べたりするなど、意欲的に総会に参加しました。「自分たちの学校は自分たちで」を合言葉に進められている児童会活動。これからの活躍が楽しみになる、期待の持てる児童総会となりました。



## 全校児童の笑顔いっぱい「1年生を迎える会」

4月22日（水）に、「1年生を迎える会」を行いました。全校で1年生を温かく迎えようと、児童会執行部を中心に準備・計画を進めてきました。学年紹介では、2年生から6年生までが、それぞれの学年の特色やがんばっていることを工夫して発表し、会場は温かな拍手に包まれました。続いて行われた1年生の自己紹介では、名前や好きなこと、好きな食べ物などを元気に発表しました。中には兄弟姉妹が立って、「うちの〇〇をお願いします」と紹介する場面もあり、和やかな雰囲気となりました。全校交流のじゃんけん列車では学年を越えて声をかけ合い、笑顔いっぱいで活動する姿が見られました。1年生にとっては学校生活への期待が高まり、上級生にとっても思いやりの心を育む、心温まるひとときとなりました。これからも全校で力を合わせ、楽しく安心して過ごせる学校づくりを進めていきます。



## 全校で縦割り班昼食会

4月30日（木）、縦割り班昼食会を行いました。天候にも恵まれ、縦割り班ごとに校庭へレジャーシートを敷き、みんなで弁当を囲みました。高学年の児童が低学年の児童に進んで話しかける姿も多く見られ、終始和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。昼食後には、全校児童で「社長さんゲーム」を楽しみ、学年を超えた一体感を味わうひとときとなりました。



## 親として子どもとともに・・・

先日の岩手日報「声 論壇」に掲載（4月28日）されていたものが心に残りましたので紹介します。

**我が子と一緒に成長する春**

村永里衣子 39歳  
（盛岡市 会社員）

きで鉛筆を握り、音読や宿題と格闘する姿はどこかほほえましくもあります。こゝろまでは親が手を引いてきましましたが、今は一歩後ろから見守る忍耐強さが私にも求められているようです。

夕食後、あれほどにぎやかだった息子が、疲れ果てていつの間にか泥のように眠っています。その寝顔をみると、一日一日を懸命に生きる子どもの力強さを教えられる思いです。

新しい環境に戸惑い、葛藤しながら進むのは親も同じ。教科書にはない喜びや苦勞を分かち合いながら、私も息子とともに、ゆっくりと成長していきたいと願っています。

親の心配をよそに、息子は毎日全力で新しい世界にぶつかっています。近所の方々に元氣よくあいさつする姿に成長を感じる一方、帰宅すれば「今日は友達とけんかした」と膨れっ面。些細な言い合いも、彼にとっては社会の中で自分を試す大切な一歩なのでしょう。

学習面でも全てが初めての経験です。慣れない手づつ

小学校に入学した長男の様子を細やかに見ているお母さんの姿が伺えます。そして、ほほえましいと見守っています。「一歩後ろから見守る忍耐強さ」。案外、よかれと思ってしてあげることが、子どもの自立につながらないことを理解されています。子どもとともに親として、焦ることなく成長していこうとする思いが素敵です。